

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
事後評価報告書

研究開発課題名	分子腫瘍学・構造生物学・理論化学・臨床医学の融合による「がんの悪性進展促進因子 HPF4 に対するドラッグデザイン研究」
代表機関名	国立大学法人京都大学
研究開発代表者名	原田 浩
全研究開発期間	平成 29 年度～令和元年度

1. 研究開発成果

事後報告書（下 URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/000065851.pdf>

2. 総合評価

・ 特に優れている。

【評価コメント】

本課題は、分子腫瘍学・構造生物学・理論化学・臨床医学の分野の研究者による連携体制を構築し、順調に研究を進めた。HPF4-HIF-1 経路をターゲットとする抗がん剤創薬研究を行い、ウェットな研究として HPF4 の機能とその悪性形質への関与を明らかにし、ドライな研究として HPF4 の構造解析、HPF4 阻害剤デザインと合成まで達成した。さらに、人材育成として、Computational & Medical Biologist の育成にも実地研修や合宿など様々な工夫を凝らして取り組んだ点も評価できる。

今後、臨床応用をより意識した研究の展開、企業との積極的な連携や導出に向けて進めることを期待する。

以上